

ジンバブエ共和国月報(2015年1月)

主な出来事

【内政】

●13日、ムタサ前大統領府大臣(前 ZANU-PF 党総務局長)は、12月の与党党大会を批判する声明を独立系2紙に発表した。

●22日、ムガベ大統領は、東アジアでの休暇を終え、当国に帰国した。同大統領は、グレース大統領夫人がシンガポールにおいて虫垂炎と診断され、虫垂を除去する手術を受け、同手術が成功したことを明らかにした。

【外政】

●18日—22日、中国政府からの13名の代表団は、当国に来訪し、当国経済状況に係る情報を収集した。

●1月28日—2月4日、ムガベ大統領は、エチオピアを訪問し、1月30日及び31日に開催された第24回AU総会に出席した。「ム」大統領は、同総会においてAU議長に選任された。

【経済】

●23日、トルコ・ビジネス代表団は、当国を来訪した。同代表団は、昨年の赤道ギニアで開催されたアフリカトルコ首脳会議におけるムガベ大統領の働きかけをうけて実現したもの。

●28日、仏企業調査団はムガベ大統領を表敬し、今後のジンバブエへの投資について意見交換した。

【内政】

●罷免されたムタサ前大統領府付大臣の声明発表

13日、ムタサ前大統領府大臣(前ZANU-PF党総務局長)は、昨年12月の第6回ZANU-PF党大会以降罷免された旧ムジュル派の閣僚等を代表して「ZANU-PF党総務局長」の肩書きで、「ジンバブエ国民に対するZANU-PF党員の声明」と題した長文の声明を独立系2紙に発表した。「ム」前大統領府付大臣は、同声明の中で同党大会及びその前後に行われた党綱領改定等の手続きや各種決定は全て無効であり同党大会以降に失職した元党役職者や元閣僚らは直ちに復権・復職させられるべき旨主張した(1月13日付ニュースデイ紙、デイリーニュース紙)。

●ムサヌ環境・水・気候副大臣の急死

15日、ムサヌ環境・水・気候副大臣は、ハラレ市内の自宅で倒れ、急死した。同副大臣は享年47歳、東マショナランド州選出の下院議員で、2013年に環境・水・気候副大臣に就任した。同副大臣は、20年以上に亘り国内外のエンジニアリング会社でコンサルタントやビジネスマンとして活動した経験があり、インフラ開発の専門家であった(1月16日付ヘラルド紙、ニュースデイ紙他)。

●ムガベ大統領の帰国及び大統領夫人の手術

22日、ムガベ大統領は、東アジアでの休暇を終え、当国に帰国した。ハラレ国際空港で治安関係者及び政府高官等と共に数百のZANU-PF支持者に迎えられた同大統領は、グレース大統領夫人がシンガポールにおいて虫垂炎と診断され、虫垂を除去する手術を受け、同手術が成功したことを明らかにした。同大統領夫人は順調に回復して20日に退院したが、現在シンガポールで療養中であり、2月中旬に当国に帰国する予定(1月23日付ヘラルド紙、ニューズデイ紙他)。

●野党MDC-N及びMDC改革チームの合同党大会の延期

ヌーベ党首率いるMDC-N及びビティ前財務大臣率いるMDC改革チームは、11月に合意した派閥の再統合及び新党結成に係る覚書に基づき本年3月に予定していた合同党大会を延期し、同党大会は7月または8月に開催される見通し。同党大会の延期は新党の要職を巡る交渉が両党派間で難航していることによるもの(1月29日付ファイナンシャル・ガゼット紙)。

【外政】

●ンチュチュマ赤道ギニア特使の当国来訪

2日、ンチュチュマ赤道ギニア特使(対外安全保障大臣)は当国を来訪し、ムナンガグワ第一副大臣(臨時代理大統領)にオビアン・ンゲマ赤道ギニア大統領からの特別なメッセージを届けた。ンラ「ム」第一副大統領との会談後、「チ」特使は、同メッセージが赤道ギニアとジンバブエの協力に係るものである旨発言した(1月3日付サタデー・ヘラルド紙)。

●ムポコ副大統領によるモザンビーク及びボツワナ訪問

14日、ムポコ第二副大統領は、ロウリンダ夫人とともにモザンビークを訪問し、15日に行われたニュシ同国大統領の就任式に出席した。16日、同副大統領夫妻は、モザンビークからボツワナに移動し、17日に行われたメラフェ・ボツワナ元副大統領の葬儀に出席した(1月17日付サタデー・ヘラルド紙及び18日付サンデーメール紙)。

●中国代表団のジンバブエ訪問及びZIM ASSETの実施支援に係るMOU締結

18日、中国政府からの13名の代表団がハラレに到着した。ウェンリアン博士率いる国家発展改革委員会国際協力センター(ICC-NDRC:International Co-operation Centre of the National Development Reform and Commission of China)の代表団は当国に4日間滞在し、昨年のムガベ大統領の訪中の際に署名した協定のプロジェクト実施に向けた準備を目的として、当国関係要人との間でセミナーを実施するとともに当国経済状況に係る情報を収集した。また、21日、ジンバブエと中国は、当国政府のZIM ASSETの重要な政策の実施を支援するMOUを締結した。同MOUは、準国営企業の改革及び再建、経済特区の設計、設置及び運営管理、中小企業の運営管理、戦

略的経済政策計画及び研究の促進、国家経済改革プログラムを促進する能力の向上、投資及び通信分野における協力基盤の構築等の分野を対象としている(1月18日付ヘラルド紙、22日付ヘラルド紙他)。

●ムガベ大統領のザンビア訪問

23日—25日、ムガベ大統領は、ルサカを訪問し、ルング・ザンビア新大統領の就任式に出席した。同就任式典において、ムガベ大統領は演説し、今次大統領選にて全ての候補者が民主的な手続を重視し、選挙結果を受け入れたことに対して感謝する旨発言した。ザンビア滞在中、ムガベ大統領はスコット・ザンビア暫定大統領と非公式の会談を行った他、ルング・ザンビア新大統領主催の昼食会に出席した(1月25日付ヘラルド紙、26日付デイリーニュース他)。

●デジニット大湖地域担当国連事務総長特使の当国訪問

26日、デジニット大湖地域担当国連事務総長特使は、当国を訪問し、ムガベ大統領と会談した。同会談の中で、「デ」特使は、紛争の火種を抱えるコンゴ(民)東部の情勢を説明すると共に、同地域の治安維持に向けて(「ム」大統領の)助力を求めた。これに対して「ム」大統領は、当該地域に永続的な平和をもたらすために協力することを約束した(1月27日付ヘラルド紙)。

●アフリカ開発銀行総裁選への立候補者のムガベ大統領表敬

27日、アフリカ開発銀行(AfDB)総裁選への立候補しているトマス・ゾンド・サカラ元AfDB副総裁(ジンバブエ人)は、チナマサ財務・経済開発大臣とともにムガベ大統領を表敬し、AfDB総裁選立候補につきSADC議長としての同大統領の支援を求めた。右総裁選は5月に実施される予定で、「サ」元副総裁は、総裁選出馬のために副総裁を辞任し、他の7人の候補者と争うこととなる(1月28日付ヘラルド紙)。

●ムガベ大統領のエチオピア訪問とAU議長就任

1月28日—2月4日、ムガベ大統領は、エチオピアを訪問し、1月30日及び31日に開催された第24回AU総会に出席した。「ム」大統領は、同総会においてAU議長に選任されるとともに、エル・シシ・エジプト大統領、サルヴァ・キール南スーダン大統領等各国首脳との二国間会談を行った(1月31日付ヘラルド紙、2月2日付ニューズデイ紙他)。

【経済】

●トルコ・ビジネス代表団の当国来訪

23日、トルコ・ビジネス代表団が当国に到着した。同代表団の当国訪問は、昨年の赤道ギニアで開催されたアフリカトルコ首脳会議におけるムガベ大統領の働きかけによって実現したもの。訪問中の同代表団にはインフラ開発、繊維産業及び農業分野での投資契約に署名することが期待

されている。同代表団長のオクソゾグル・トルコ企業産業連合幹事長は、当国は投資への準備が整っている旨、また、トルコの投資家がハラレの学校建設及び不動産分野にも関心がある旨発言した(1月25日付サンデーメール紙)。

●インド系製鉄工場の操業再開の可能性

24日、ミッドランド州レッドクリフ市のグワティペザ・タウン・クラークによると、この度中央政府の高官は、レッドクリフ市に所在するインド系製鉄企業New Zimsteel社(旧:Ziscosteel社)が約7年間の操業停止期間を経て、本年3月に操業を再開することを保証した模様である。New Zimsteel社は、最盛期の1980年代には、1万人以上の労働者を雇用するとともに、その下請け企業においても数千人の雇用を創出していた。3年前にムガベ大統領がNew Zimsteel社の公式開業を象徴するテープ・カットを行っていたが、その後政府と新しい株式所有者Essar Holdings Africa社との間で手続き上の問題により、同社は閉鎖されたままだった(1月26日付ニュースデイ紙)。

●仏ビジネス調査団の来訪及びムガベ大統領表敬

28日、当国来訪中の仏企業調査団がムガベ大統領を表敬した。ジェラルド・ウルフ団長が率いる同調査団には仏の大企業10社から12名が参加した。「ム」大統領は、同表敬において51対49という当国に利益をもたらすための比率は鉱物などの当国資源を基本とする分野のみに適用されるものであり、他の分野においては、海外の経済投資家が自由に当国のパートナーを見出し、その比率を交渉することができる旨説明した。当地仏大使によれば、今次仏調査団に参加した10企業は、50万人以上を雇用する等仏経済の主軸となっている企業であり、今回、特に、衛星通信、鉱業、農業、インフラ開発等への投資を検討している(1月29日付ヘラルド紙)。